

S.O. 社会システム学科 3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学を考え始めたのは、1年次の秋頃です。韓国アイドルが好きだったので、大学の第二言語として韓国語を受講していました。徐々に韓国語能力が伸び、SNSを通じて現地の方と話せるようになったことで言語の楽しさを実感し、もっと実践的に学びたいと考えようになりました。授業だけでは物足りず、独学で韓国語を勉強する時間を設けたりしていましたが、留学が目的ではなかったもので、SNSで推しの投稿をひたすら訳して覚えるなどの趣味程度の取り組みでした。本格的に考え始めたのは、2年次の8月、9月ごろだったと思います。TOPIKの点数が上がったことをきっかけに留学を意識するようになり、まず国際課で協定大学留学制度についての冊子を受け取り、色々調べ始めました。計画なく急に決めたことでしたが、趣味の一環として、自分のレベルを知るためにTOPIKを受けていて良かったと思ったことを覚えています。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

大学の授業を通して学習していました。ハングルの読み書きなどの初歩的な内容から始めて、半年ぐらいで簡単な文章を作ることができるぐらいになっていたと思います。大学の授業で使ったテキストの中では、「できる韓国語」が特にわかりやすかったと考えます。独学で使った教材では、YouTubeやドラマ、Xが多かったです。ドラマやアイドルのコンテンツをたくさん見て、語彙と簡単なフレーズ（会話でよく聞くもの）はある程度覚えていたと思います。ハングルが読めるようになった後は、韓国語の歌詞を見ながら歌を聞いたり、XのDMを通じて同じアイドルが好きな韓国の方と会話をしたりすることで、語彙や表現（読み）を習得できたと思います。徐々に内容を理解できるようになり、スムーズに会話できることに楽しさを感じるようになりました。それを通して読むスピードが速くなったと自分でも感じました。さらに、より仲良くなった方と電話をしたり、同志社大学に正規留学している韓国人の友達とも直接話したりすることにより、スピーキング能力が一気に向上したと考えます。留学のための資格は、もともと趣味の一環で韓国語を学習する中で、自分のレベルを知るために力試しでTOPIK試験を受験し5級を取得していたので、留学決定前の資格のための勉強はあまり何もしませんでした。インターネットで検索したらすぐに出てくるサイトで、作文の点数を取るコツ（接続詞や文章の構成など）をひたすら頭に叩き込んで受験しましたが、意外と点数は取れました。TOPIK公式サイトで無料で閲覧可能なので、それを利用して問題形式に慣れると良いと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間

語学の勉強はほぼせず、ドラマやアイドルのコンテンツを見て、知らないワードが出てきた

際に調べる程度でした。入寮後にクラス分けのテストがあると聞いていたため、少し不安でしたが、結局テストはなく、希望通りのクラスに入ることができました。ただ、半年前に来た友達はテストを受けたと話していたため、念のため勉強しておく方が良いと思います。

（頑張りすぎたら本来の能力よりも上の級になって負担になる可能性もあるかも。）ビザの申請は必要書類が揃うのに時間がかかり、1か月前くらいに申請しました。地域ごとに異なるようですが、私の地域（大阪）では申請は直接、駐大阪大韓民国総領事館に行く必要があります、その場でパスポートを預け、発行後に、また領事館に取りに行く必要がありました。地域ごとに違う点もあると思うので、しっかり確認しておく方が良いと思います。その他の準備としては、食べ物を買に行ったり、eSIMを契約したり、友人と会って遊んだりしました。留学の荷物は飛行機に預けることができる大きなサイズのスーツケース一つでした。出国の前日に準備を終わらせました。

④ 現地到着後

eSIM（Embedded-SIM）を契約していたので、空港ではWi-Fiに繋げて設定することを最優先しました。その後、大学前に集合予定だったため、電車を使って移動しました。（韓国は、タクシーが比較的安いので、タクシーを使えばよかったと後悔しました。）予定時間になると担当者が来られて、それぞれの寮に案内されました。寮によって場所はバラバラで、学校に近いところになるかならないかは運だと思います。（慣れれば、どの寮であっても遠く感じませんでした。）オリエンテーションと履修登録はオンラインで、入国する13日くらい前に行いました。この時に、X線検査ができる病院を教えてもらい、寮に入った後に行きました。学校から徒歩で行ける場所でしたが少し距離があったため、バスで移動しました。留学生がよく来る病院なので韓国語ができなくてもすぐにわかってもらえると思います。銀行口座開設には携帯電話が必要だったため、外国人登録証が発行されてから、eSIMの電話番号認証の申請をしました。申請が通ってから銀行に行き、口座作成をしました。（この時、チェックカードを作ると便利だと思います。）銀行では少し専門用語が出てくるため、手続きの内容とそれに合ったフレーズや単語をネットで調べてからいくといいと思います。職員の方は優しくて解決するまで聞いてくれるので、伝わらない時も落ち込まずに伝えようとすることが大事です。銀行は大学内にはATMのみなので、口座は別の場所で作らないといけません。携帯電話は日本から持っていったスマートフォンを使い、eSIMも日本で契約し、登録と認証申請のみ現地で行いました。

⑤ 語学研修期間

3か月のみでした。たまに発表があるくらいで、受動的に韓国語を学ぶだけで、大学の第二言語授業と変わらないため、TOPIKのための勉強をしたい人以外は受講しなくてもいいと思います。スピーキングは、全員外国人であることから先生以外から正しい発音を学ぶことが難しいです。中間テストと期末テストがあり、筆記、リスニング、リーディング、スピー

キングをやります。途中で、体験学習としてパーソナルカラーをしたのは楽しかったです。

（内容はクラスごとに違いました。）

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

同志社女子大学（京田辺キャンパス）と特に変わりはないです。規模が少し大きくて芝生があり、バドミントンをしたり、布を敷いて寝たり友達と談笑したりしている人もいました。学内への出入りが比較的自由なので、休日に家族連れがいたりしました。図書館は、24時間開いていて睡眠スペースもあったので、テスト期間中は徹夜している学生もよく見かけました。

◆ 履修科目

選択必修の単位が少し足りなかったため、社会システム学科のライフデザインコースに係りそうな授業を中心に取り、残りは韓国語が学べる授業を取りました。

◆ 授業、レポート、定期試験

<春学期>

・「東アジアの文化とコンテンツ」

外国人留学生のみが受けることのできる授業です。東アジアの文化という名称ですが、韓国の文化がほとんどです。先生が優しく、授業も楽しかったです。テストのみありました。授業中は、日本人一人だったこともあり、よく当てられました。

- ・ 中間テスト（授業内容の確認）

- ・ 期末テスト（授業内容の確認）

・「人間コミュニケーション」

専攻科目です。主に社会心理学のような授業でした。韓国人の学生と同じ授業を受けるため、少し難しかったです。でも、教授も受講している学生も良い人たちだったので、PPTを読んでも分からない点や気になる点があれば積極的に質問して問題解決できました。

- ・ 中間テスト（授業内容の確認、論述式）

- ・ 期末テスト（中間テストと同じ）

- ・ 課題レポート（5枚、自分の性格探求：10人ほどに独自のインタビューと自我から）

・「大衆文化と文化研究」

留学中、一番きつかった授業です。授業で取り扱う内容自体は、カルチュラルスタディーズに似ていました。指定された資料を読み、そこから討論内容（意見）を考え、レポートとしてまとめ、原稿を作成します。その後、授業でそれを発表し、他の生徒からの質問や意見に答えます。また、討論が一周した後には、エッセイを作成しそれをまとめて5分間のスピーチを行いました。とにかく、討論もスピーチも時間制限があり、もちろん韓国語で話すため、練習を何度も行い挑んでいました。授業内でピザパーティーをしたのは楽しかったです。

- ・ 討論（レポート 4 枚、原稿づくり、発表、質疑応答）
- ・ エッセイ（5 枚、過去のオタ活の黒歴史）
- ・ 5 分間スピーチ（エッセイをまとめたもの）
- ・ 期末テスト（授業内容の確認、記述・選択）

<秋学期>

・「国際学生のための韓国語Ⅲ（高級）」

外国人留学生のみが受けることができる韓国語の授業です。Eメールの書き方を中心に学びます。4回ほどグループワークがありました。教授が優しく、フィードバックもたくさんしてくれます。

- ・ 課題（Eメールを授業中に書き、教授に提出し、添削）
- ・ 中間テスト（授業内容の確認、記述問題）
- ・ 期末テスト（中間テストと同じ）

・「国際学生のためのライティング」

外国人留学生のみが受けることができる授業です。TOPIK の作文問題対策のような授業でした。環境問題や、少子化問題、フェアトレード等、社会問題についての意見文を書きました。

- ・ 課題（提示された主題に対する意見文を作成）
- ・ 中間テスト（授業内容の復習、記述問題）
- ・ 期末テスト（中間テストと同じ）

・「韓国文化の理解」

韓国の伝統文化だけでなく、現在の社会問題や文化についてテキストを通して学んでいく授業です。グループワークがあり、グループで世界遺産に訪問し、探訪記としてまとめ、発表しました。

- ・ 課題（毎週、テーマに沿って記述し提出）
- ・ 中間テスト（授業の内容確認、TOPIK と同じ問題形式）
- ・ 期末テスト（中間テストと同じ）
- ・ グループ発表（世界遺産に訪問、そこでの行動を探訪記形式で作成、PPT を使用しながら、発表時間は全体で7分くらい）

・「エンターテインメント産業論」

専攻科目です。K-POP、日本アニメ、テーマパーク等、幅広いジャンルのエンターテインメントについて学ぶことができます。また、環境変化や、年代ごとの様々な国のメディア、エンタメの変化についても追及する授業です。グループディスカッションを3回ほど行い、意見交換をしました。

- ・ 中間テスト（オンライン形式、提示される問いに対して、授業で学んだことを取り入れて手書きで解答を書き、メールで提出）

- ・グループディスカッション（テーマに合わせて近くにいる人と6人ほどで意見交換）
- ・課題（毎週、提示される問いに対して、新聞や報告書、書籍等から12個ほど参考文献を使用し、自分の考えや発見について表にまとめる）
- ・期末課題（上の課題を全てまとめたものと、その中でより価値観等が変わった問いについて手書きで書いたものをPDFにまとめて提出）

・「コミュニケーション理論」

専攻科目です。授業内容は、「人間コミュニケーション」という授業の応用に近いと思います。より詳しく、数多くの研究から対人心理やSNSを利用した意思疎通等について探求します。オンライン形式の授業です。掲示板を利用し、毎週討論の主導者と参加者のどちらかになり、討論を行いました。（どちらも同じ回数行わなければならないです。）

- ・中間テスト（オンライン形式、オープンブック、選択問題）
- ・期末テスト（中間テストと同じ）
- ・期末課題（毎週行ってきた討論活動内容をまとめて提出）

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

チュータリング活動をしました。日本語を勉強したい誠信学生（3人）と3対1で毎週双方の言語を教えあいました。やることは自由でした。私のグループは熱心な人が多く、日記やプレゼン等を行いました。

⑧ 現地での住まい

キャンパス外にある寮で過ごしました。部屋が狭く（広さに関しても運です）、ボロく見えただため不安でしたが、1年の滞在と割り切って生活していくうちに慣れました。問題はあまりなかったですが、エアコンから水漏れがあった際に、対応が遅くてすごく不便でした。基本的に外国人が住む寮で、各学生の韓国語のレベルも様々でした。シャワーやトイレ、キッチン、洗濯機、冷蔵庫は部屋の中にあります。私の寮は、電子レンジとウォーターサーバーが共同スペースにありましたが、電子レンジも部屋の中にあたり、ウォーターサーバー自体がない寮もあつたりしたため、寮によって構成は異なると思います。アパートのような寮で、食堂等はありません。通学時間は一番遠い寮からは、10分ほどです。とても便利でした。

⑨ 長期休暇の過ごし方

友人たちと済州島に行ったり、音楽番組の収録やファンミーティングに行ったり、韓国での生活を楽しみました。ドラマや映画を部屋で見て、時間を過ごす日もありました。また、家族が遊びに来ました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

授業や課題、テストをこなすことに精一杯だったため、留学前半は何も手を付けられませんでした。ようやく慣れてきた9月頃に焦りを感じ、サイトに登録をしたり、説明会を聞いた

りするようになりました。やりたいことや企業等、何も決まっていなかったため、業種等こだわらずに気になった企業のインターンやオープン・カンパニーに応募しました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

楽しかったことはたくさんありますが、特に楽しかったのは好きなアイドルのコンサートや音楽番組の収録に行くことができたことです。韓国ではチケッティングも番組収録も先着順なので、友達とネットカフェに行ってチケットを取ったり、寮で申請したりしていました。その時も楽しかったし、コンサートや番組収録は言うまでもなく最高でした。また、他の大学の文化祭に参加し、好きなアイドルを目の前で見られたことも一生忘れることのない思い出になりました。元々SNSを通じて交流していた友達と直接会って遊んだり、大学でできた様々な国の友人たちと遊べたりと、交友関係が広がったことも良い思い出です。もちろん現在も頻繁に連絡を取っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

辛かったことも色々ありますが、ホームシックにはなりませんでした。日本では実家暮らしですが、家族に会えない寂しさ等は全くなく、一人暮らしに向いているのではと思いました。基本的に2人部屋ですが、1人、3人部屋を選ぶこともできました。私の場合は、ルームメイトと生活バランスが良かったのか、あまり苦に感じませんでしたが、2人、3人部屋の人は、自分の時間の作り方を考える方が良いかなと思います。私は、同志社女子大学の同じ学年の学生と一緒に生活しました。トラブルも特になく、一緒に食事や旅行をしたり、お互いの推しを共有したりして楽しんでいました。ほとんど普段の会話は日本語だったため、韓国人の友人と頻繁に会話し、そこで発音や表現を自然と習得しました。一緒に部屋になりたい人がいれば、指定ができました。指定しなかった場合、相手が日本人になるかどうかは留学生の人数によって決まると思います。他の国の留学生の可能性もあります。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

もともとドラマなどをよく見ていたり、韓国に何度か来たりしていたため、大きなショックはなかったです。日本と比べて学校に化粧をしていない人が多く、帽子を被っている人が多いです。学校が急な坂の上にあることからスニーカーを履いている人がほとんどです。本当に勉強に熱心で、テスト期間は人が多く、図書館に泊まる人も多かったです。あとは、休学している人も本当に多いです。私は3年次生での留学でしたが、01年生まれ先輩がよくいました。マップでは営業中と表記されていても、実際にお店に行くと閉まっていたり、配達専用店だったりすることはよくあります。（慣れます。）バスはかなり遅い時間まで運行していて、朝も早い時間から運行しています。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点

- ・近くに飲食店、4カット、オリヤン、映画館など娯楽施設が充実していた。
- ・4号線や6号線の駅が近く、遊びに行く際に便利だった。（移動時間もあまり長くないです。）
- ・銀行、食堂、カフェ、コンビニエンスストア、ジムがあった。
- ・優しい人が多く、教授や、授業で少し関わった子がすれ違った際に声をかけてくれることも多かったです。
- ・施設も新しいわけではないですが、綺麗な方だと思います。

悪かった点

- ・校舎に行くまでの坂が急で、そこを上だけで疲れます。
- ・エレベーターがすべての階に止まってしまうため、来るまでに時間がかかります。（基本的に階段を使用していました。）

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは日本で使っていたもの（Windows）を持って行きました。レポートの提出がある授業もあるので、必須だと思います。ただ、韓国人の学生たちは、ほとんどがタブレットを使用しており PPT や教材をダウンロードしそこにメモすることもできるので、もし持っているのであればタブレットもあると便利かなと思います。キーボードは日本語のもので、韓国語のシールなども貼っていませんが慣れたら打てるようになります。食事面だと、電子レンジでご飯が炊ける容器や鍋のもと、ふりかけやレトルトがあると良いと思います。他は正直、韓国で買えますが、強いて言うなら冷えピタ、日焼け止めかなと思います。韓国でも買えますが、冷えピタはあまり冷たさが長持ちせず、日焼け止めはスティックタイプが多く、全身用がありません。あまり荷物を増やさない方が、帰国の時に楽だと思います。基本的にクレジットカードを使用していましたが、稀にうまく読み込めないことがありました。（VISA カードでしたが、原因は不明です。）他の時は問題なく使用できました。冬頃から、ネット決済で海外カードを使用する際、VISA カードの欄が無くなっているものもあったため、チケッティング等をする際には注意した方が良いでしょう。また、友人が楽天カードを持っていたのですが、使えないことが多いと感じました。発行会社によって違うのかなと思います。カードのブランドだけではなくて、発行会社も気にした方が良いでしょう。何枚か予備で持っていくことをおすすめします。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は確実に伸びました。特に、聞き取りの能力が伸びたと感じます。もともと TOPIK5 級を取得していて、ある程度はできると思って留学しましたが、自分の韓国語の未熟さを初

日から痛感しました。知識があったとしても、いざ使うとなると、スムーズに使用できませんでした。特に、ソウルの人は話すのがとても早く、電話で話していた地方の友人との会話とは全く異なるものでした。初めて聞いた時にはすぐに聞き取れず、何度も聞き返すことが多かったです。授業の内容も専門用語が多く、ひたすら調べて覚えることの繰り返しでした。徐々にスムーズに聞き取れるようになり、友人や教授との会話をリアルタイムで楽しめるようになり、授業でも積極的に意見を言えるようになりました。また、韓国に旅行していた時から、韓国人に間違えられてなのか、よく電車や道を聞かれ、その度、「ごめんなさい。分らないです。」と言っていた私が、その場所まで会話しながら案内したり、聞き返すことなくすぐに返事したりできるようになった点から、本当に成長を実感しています。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

何気ない気持ちで決めた留学でしたが、留学して本当に良かったと感じています。初めは、自分自身の韓国語の未熟さに落ち込むことや、不安を覚えることが多かったです。ですが、せっかく来たのだから、できることは何でもやろうと考え、自らチュータリング活動に参加したり、積極的に質問したりしました。途中からは、なんとかなる精神でとにかくなんでも恐れず、取り組んでいました！交友関係も広まり、色んな国籍の友人ができました。周りも暖かい人ばかりで、熱心に話を聞いてくれ、アドバイスをしてくれたり、上達したことを一緒に喜んでくれたりと、本当に幸せな時間でした。帰国した後も、留学中に仲良かった子とは連絡していて、就活が終わり次第、会う約束もしています。私は、やりたいことがあるなら、その時に挑戦していくべきだと思います！正直、最終的にはなんとかなります。やらない後悔よりやる後悔です！一つだけ懸念点があるとすれば、留学していた1年間、アルバイトができないということです。奨学金にとっても助けられていました。初めの方は、レートも悪く、かなり辛かったです。レートが上がり、もう少し上がると思っていたら下がってしまったこともあり、本当に読めないです。費用面に関しては、全く計画なしに留学は危険かなと思います。とにかく気になったら質問したり、自ら調べたりすることが大事です。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

軸が定まってきたため、その軸に沿った企業に入れるように、まずは就職活動に励もうと思っています。就活で日本語ばかり使う中で、韓国語を忘れそうになる瞬間が多々あるので、今後も、韓国語には触れていきたいと思っています。また、言語を学ぶ楽しさを覚えたので、就活が終わり次第、すぐに新しい言語にも挑戦していこうと考えています。

V. 写真



留学をきっかけに仲良くなった友人2人と2日前に済州島旅行を計画。大まかにしか決めていなかったため、行き当たりばったりの旅行でしたが、それはそれで楽しかったです。

文化祭に参加しました。韓国アイドルやアーティストの方が来てくださり、韓国の大学ならではの貴重な体験ができました。想像以上に人も多く、出店も美味しかったです。

